

# はぐくみ会だより

第 48 号

令和元年12月 1 日



題名 懊悩柱（おうのうちゆう）

解説

人間は思い悩み葛藤する。しかしその苦悩の先に必ず「希望の光」があります。その「光」を追い求める人間の心を表現したく、本作品を制作しました。

六家 敬吉 作

題名 直環（ちよくかん）

解説

我々の社会は、人々の様々な思いでこんとんとしている。そのようすをまっ直線で現した。次に何らかの賢き力によって勝手な方向の力がうまっく環を描いて調和したとさきの様子を現した。

葛井 保秀 作

# 同窓生ギャラリー

第126回

## Satoshi展

……………片山 諭志 (立成6年電気科卒)

この度は個展を開催させて頂き心よりお礼申し上げます。高校在学中はソフトテニスに打ち込み、インターハイや国体に出場するなどとても充実した3年間を過ごす事が出来ました。その後も大学で日本一を経験し、2000年富山国体には成年選手として出場。選手引退後は中学生のコーチとなり、ソフトテニスには一生関わって行くと思っていたにもかかわらず(笑)書家として活動している現在が今でも不思議な感覚です。こんな人生になるとは想像もしていませんでした。そのよゆうな中でこの度、青井記念館美術館で個展を開催できたことを大変光榮に思います。個展というのは自分自身のイメージネーションをさらけ出せる機会。今回も個展を楽しみに来てくださった友人知人が多くいます。皆さんとは話が尽きず、とても楽しいひと時を過ごすことができました。「作品」を介してのコミュニケーションは普段とは違う特別なものです。貴重な機会を頂き、また経験値の一つ重ねる事ができました事に心より感謝申し上げます。

書道経験ゼロから独学で筆を持ち、2010年から活動しています。筆を持ち始めたきっかけは、人の目を見て感じた言葉(詞)を贈るという活動を始めたことでした。以前、市役所に勤めていましたが何か違うなと思ひだし、自分のスタイルで人に貢献できる事をしたいと考えていた中で選択したことです。当初は様々な

イベントや店舗、百貨店などに出張し多くの方々に言葉を書かせて頂きました。2012年にはニューヨーク、2013年にはロンドン、パリにも自ら行って現地のストリートで多くの方々に漢字と日本語で言葉を贈りました。また、数年前からは自身オリジナルの作品を創作し始め2015年には富山市民プラザで初個展を開催しました。1000点を展示し、3日間で500名以上の方々にご来場いただきました。2017年には香港で個展、ドバイでグループ展にも出展しました。



令和元年5月3日(金)～5月25日(土)

第127回

## 美術同好会 「美笑楽」展

グループ12名による工芸・写真・

絵画など40点を展示した。

作品展に思うこと……………坂井 茂

(昭和33年塗装科卒)

私が定年過ぎた頃だったと思います。私からと出品を依頼され、青湧会で10回、美笑楽で2回参加いたしました。作品展に出品するという目的を持ち、デザインを考え制作しております。他の作品展を見る事も大変参考になるので、外の作品展を見る楽しみも出来ます。出品された作品を見て、お互いに作品の意見を交わして、次回の作品作りにつなげていきます。作品展の折、来ていただいた方になるべく作品の紹介をするようにいたしております。そして、来場者の意見を伺うことも大切なことと思っております。大変貴重な意見を聞くことができます。又、作品展が終わった後、反省会を開き、より良い会にするよう運営について検討してきました。これからも作品展に参加し、お互いに技量を高め、お會員同士の融和、親睦を計り、喜び合いたいものです。



令和元年5月3日(金)～5月25日(土)

第129回

## 第12回 夢散歩展

今回で12回を迎える、洋画や陶芸、写真による作品展が開催されました。

令和元年6月1日(土)～6月23日(日)

第128回

## 寺 直彦 工展

クラフト展「木を知り、木を活かす」をテーマに、天然木を使った飾り台やテーブルなど独創性あふれる作品50点を展示した。

……………寺 直彦 (昭和61年卒)

この度ご縁があり、学生の頃から今日までにおき初めての個展を開催することが出来ました。卒業から30数年が経ち、気がつけば自分も半世紀を過ぎました。今回の個展を通じ、改めて自分の作風を見つめ直すよい機会を与えていただいたと感じているところです。

卒業以来、木と共に生きてきた人生。作品を通じて様々な方々に出会い、支えられ、自分自身が成長させていたいただいたことを有難く思っています。

今回の作品展で出会った方、ご協力、ご支援をいただいた方々、本当にありがとうございました。これから見る方の心にも響き、また喜びを与えられる作品作りに挑戦して参ります。



令和元年6月1日(土)～6月23日(日)

**第130回**  
**三軌会写真部**  
**富山支部展**

人物、風景、祭りなど26点展示した。

……石金 忠 (三軌会会員)

三軌会写真部富山支部展は、絵画・彫刻・工芸並びに写真の4部からなる公募美術団体「三軌会」に作品を出品している作者の集まりです。

小学5年年生で初入選依頼連続入選昨年デザイン絵画科を卒業し、新人賞を受賞、三軌会写真部同人に推挙された湊友希君のご縁で私たちは皆様のお仲間に加えて頂きました。

昨年に続き今年も同窓生ギャラリーに参加させて頂き、多くの方々へ作品を見て頂きました。本美術館で写真展として写真だけの展示は無かったのでないでしょうか……。

青井記念館美術館に立ち入る事の無

かった写真愛好家達が、多く足を運んでくれたと自負しています。本デザイン絵画科で写真を教科として学ぶ生徒さんの中からも、先輩に続き写真家を目指す若い人を応援したいと願っています。



令和元年8月4日(日)～8月25日(日)

**第131回**  
**第7回工芸建築科同窓会作品展**

オープニングセレモニーに吹奏楽部によるサキソフオン四重奏の演奏があり、大野会長の開会の言葉で開会した。

会期中に富山県板金組合青年部による「銅板で折り鶴体験」ワークショップや岩崎博昭(H15卒)による「建築のヒント」を題して講座を開催、川合光行(S55卒)による茶会も開かれた。

**講座** ケンチウのヒントを通して

……………岩崎 博昭 (H14卒)

工芸建築科同窓会・作品展も7回目を迎え、10回目の節目に向けて、建築科同窓会ではこれまで以上に作品展が盛り上がるよう企画を検討中です。

そんな作品展の事業委員会の一員として最年少で参加させて頂く中で、これまでは諸先輩方の背中を追いかけて学ばせて頂く立場でしたが、今回高校生に向けての講座を引き受けるにあたり、これまでの経験から何を伝えられるのか考えると同時に、自分自身を見つめなおす良い機会ともなりました。

「ケンチウのヒント」講座では、大学在学中・就職から現在に至るまで何をやって、その時々何を考えていたのか、また現在何に興味を持っているのか一個人の主観的な考えを通して、今後も続く学生生活の中で少しでもヒントになればとの思いでお話させて頂きました。

学生に何かを与えられたかについては自信はありませんが、少なくとも自分にとっては忘れられない良い経験となりました。



まっすぐに純粋な視線を受けながらの講座は、初めてということもあり緊張で拙いところばかりだったと反省もしています。

終わってみればあつという間でしたが、このような機会を頂いたことに感謝いたします。

**講演会を通して学んだこと**

……………3年 建築科 宮下 尚也

今回の講演会を通してことさまざまに挑戦することの大切さを学びました。

講師の先生は大学時代に積極的に先輩などに頼み込んで模型づくりを手伝ったり、実際に企業で模型を制作したりとたくさんの体験をしたと聞きました。私も大学進学希望なので勉強だけでなく、積極的に新たなことに挑戦し、自分の目標に向けて活動したいと思いました。

現在の仕事に対しての姿勢や考え方などについてもお話されました。決められた予算内で依頼主の期待以上のものを設計し、また、難しい依頼にも応えるため頭を絞って創意工夫をしている事を知り大変だと思いました。

私は意匠設計士になることを夢見ているので、これから一生懸命頑張りたいと思います。



令和元年9月8日(日)～9月28日(土)

## 文化部合同展 2019

令和元年7月10日(水)～7月28日(日)



果を発表した。吹奏楽部によるミニコンサートが行われた後に開会した。

写真部、書道部、陶芸部、美術部、クラフト部、デザイン研究部、機械工学部、電子機械工学部、電気工学部、建築工学部、土木工学部などが



## 収蔵作品展 Ⅰ期

### 「金工展 現代の名匠 般若保」

平成31年4月6日(土)～4月27日(土)

異なった材質の金属を鑄型に流し込む吹分技法の第一人者である般若保(昭和33年電気科卒)さんの作品や、高岡に本格的な鑄造原型の技法をもたらした大塚秀之丞(旧職員明治27年～大正6年)の作品「老人」、「商人」など計40点余りを展示し匠の技を紹介した。



## 企画展

### ×(かける)展

令和元年8月4日(日)～8月25日(日)

1デザイン(絵画科)1年生と富山大学芸術文化学部の学生が「海をイメージ」をして、コラボレーションの成果を披露した。

\*\*\*\*\*

2年デザイン(絵画科) 柴田 敦滋

今回、×展を行うに当たって多くのことを学びました。大学生の皆さんと作品を制作し、展示から片付けまで協力しながら、お互いの親睦を深めているいろいろな話が出来ました。特に作品を制作する際、困っていることや分からないことがあると丁寧に説明して下さい、アイデアの提案を手伝って下さいました。

作品は協力したからこそ、その工夫を凝らされたものになりました。また、我々の作品だけでなく、大学生の皆さんの作品も鑑賞出来ました。今後自分の作品に生かせるような工夫やまた触れたことのないジャンルのもを観ることができました。自分の作品を出品するだけでなく、新しいアイデアを生み出される充実した空間に仕上がりが、これからも継続して欲しいと思いました。また、自分の創造性を磨けるのでとても充実する事が出来ました。



## お知らせ

### 改組新 第6回 日展 富山展 (本校関係者)

〈洋画〉

副理事長 藤森 兼明 (昭和29年国案絵画科卒)

〈工芸美術〉

再入選 谷口 信夫 (昭和42年工芸科卒)

池上 猛 (昭和48年デザイン科卒)

織田 定男 (昭和63年工芸科卒)

葛井 保秀 (教職員)

育藤 晴之 (旧教職員)

正和 明美 (平成20年工芸科卒)

宮長 由紀 (平成14年化学工業科卒)

尾長 保 (旧教職員)

川原 和夫 (昭和31年木芸科卒)

会員

## はぐくみ会会員募集のお知らせ

年会費(年1回納入)

- ・一般会員(個人) 2,000円
- ・特別会員(企業・団体) 10,000円
- ・会費納入は左記のお願いします。

(直接事務室への納入も可能です。)

郵便局 口座番号 00710-0-31397

富山県立高岡工業高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

詳細は青井記念館美術館の事務担当者までお問い合わせください。

連絡先 高岡工業高校

TEL (0766)21-1630(代)

## 編集発行

富山県立高岡工業高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住所 〒931-8518 高岡市中川一丁目110

TEL (0766)21-1630(内線611)

FAX (0766)21-1631